

NO.21

2010.11.5.発行

# ぬくもり



H22.10.10収穫祭の様子

豊後高田・田染荘

## ●CONTENTS

腎臓内科開設のお知らせ	2
胃ろうについての講演	3
救急車両の運用について	3
医事統計総括表	3
C型肝炎について	4~5
リレーフォーライフ大分	6
ご意見いただきました	6
供養盆踊り	7
新入職員紹介	7
外来担当医師一覧表	8

### 基本理念

地域医療への貢献  
「肌のぬくもりある医療」の実践



### 基本方針

- 一. 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一. 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一. 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一. 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

宇佐高田医師会病院

肌のぬくもりある医療

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307

<http://www.utihp.jp/>



私達は笑顔を大切にします

# 腎臓内科開設のお知らせ



院長  
柏木 孝仁

鶴見病院のご厚意により、10月から腎臓内科の先生を非常勤派遣していただく事になりました。有馬誠先生です。よろしくお願ひします。

事の発端は一枚の投書でした。

「私は腎臓が悪く、月に一回別府まで通っていますが大変です。腎臓内科の先生に来てもらいたい。」

調べてみると、宇佐市内には透析治療の病院はありますが腎臓内科の先生は居ませんでした。昔に比べ随分楽になったとはいえ、患者さまにとって透析治療はやはり大変な負担です。腎障害を早

く診断し治療を行えば透析を回避できる可能性が有りますし、弱った腎臓を如何に長持ちさせ透析への移行を遅らせる事ができるかが重要です。腎臓内科の先生はその大きな一助となります。

詳細については、有馬誠先生ご自身が紹介文に書いていただいておりますので是非ご参考にしていただき、心当たりのある方は受診していただく事をお薦めします。



腎臓内科医師  
有馬 誠

## 腎臓内科の紹介

腎臓内科が開設（第1、3金曜日午後）されることになりましたので、腎臓の病気について話させていただきます。

一般的に腎臓病は、症状が進行するまで自覚症状がみら

れないのが特徴です。そのための確な診断が必要になります。最近、さまざまな種類の腎臓病の総称であるCKD（Chronic Kidney Disease、慢性腎臓病）が話題になっております。CKD患者さんは現在日本に1100万人いると言われており進行すると心臓の病気、脳卒中などの生命にかかわる重大な合併症を引き起こします。また、症状がひどくなると透析が必要となるため注目されているのです。早期発見・早期治療が重要となります。

腎臓病の主な症状は、①蛋白尿や血尿がある、②尿が濁ったり、色が赤・黒・赤ワイン色など異常である、③体が異常にむくむ、体重が急に増える、④血圧が高くなる、⑤夜間の尿の回数が多い、⑥貧血の進行、⑦腰の痛み、発熱がみられる、⑧脱力感、筋肉の痙攣がある、⑨口が異常に渇い

たり、うとうとしやすくなる、⑩尿量が極端に多い、または少ない、などです。このような症状が現れたら腎臓病が疑われますので受診をお薦めします。

代表的な病気についてお話します。まず、腎炎についてです。風邪など先行する感染症のあと1、2週間後に上記のような症状が出現する急性腎炎と、なんらかのストレスが加わったあとすぐに症状が出現する慢性腎炎があります。急性腎炎は安静・減塩食などで感染症の回復後治るのですが一部慢性化し放置すると腎機能の低下を招き、腎不全となります。次に糖尿病性腎症についてです。糖尿病の合併症として起こる腎臓病で、近年増加傾向にあり透析治療導入原因のなかで最多となっております。早期からしっかりと糖尿病と血圧の管理をしておけば進行を予防することができます。

腎不全になって透析治療を受けると日常生活にも大きく負担がかかるようになります。気になる症状があれば、早めに受診していただき病気が進行するのを防ぎましょう。また、尿検査や血液検査は早期発見にもつながりますので、定期的に健康診断を受けることをお薦めします。

# 胃ろうについての講演

8月25日、特別養護老人ホーム 妻垣荘にて、当院の小野英樹医師（消化器内科部長）が、胃ろうについての講演を行いました。主に、胃ろう造設の実際、胃ろう管理のポイント、よくあるトラブルの対処法など施設職員の方々を対象とした講演内容でした。



## 感想

今回初めて胃ろうについて実際の写真など見ながら勉強させて頂きました。胃ろうは摂食障害の方が栄養管理をどうするかということや胃ろうは口であることを知り、なるほどと思え方が一変しました。

胃ろうは本人の意志や家族の意向など十分に

話し合い、それからがスタートであること、私のケアマネの仕事に大変役立つものとなりました。

ありがとうございました。

介護保険サービスセンター  
妻垣荘 尾立 比登美

# 救急車両の運用について

事務長 熊谷 嘉典

今年5月に宇佐市消防本部より救急車の払い下げがありました。患者搬送用車両として運用準備を始め、7月より当院の「救急自動車管理運営規程」に則り、運用を開始しました。

主に、当院入院中の患者様の専門病院への搬送や、医師会会員施設と当院間の患者搬送として運用しております。この8月には市内の多重交通事故発生の際、宇佐市消防本部からの大分

DMA T 出動要請があり、ドクターカーとしてさっそく出動しました。

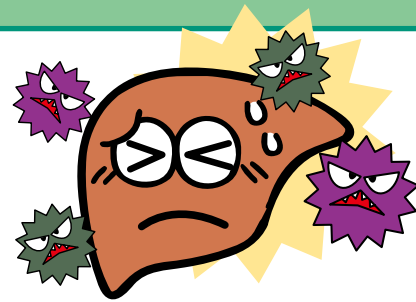
今後もこの救急車両の適切な運用により、救急医療充実に尽力して地域医療に貢献していきたいと思っております。



## ■医事統計総括表（7月～9月）

	7月		8月		9月		
	21年度	22年度	21年度	22年度	21年度	22年度	
外来患者延べ人数(人)	1,644	1,666	1,439	1,547	1,417	1,518	
1日平均入院患者数(人)	70.7	80.7	63.8	75.0	69.8	73.7	
科別内訳	循環器	12.1	19.0	13.0	17.8	13.1	15.4
	消化器	11.2	19.9	13.2	17.7	16.2	17.2
	外科	27.7	28.4	21.0	25.5	22.6	23.3
	呼吸器	19.7	12.6	16.6	14.0	17.9	17.8
平均在院日数(日)	13.3	15.2	13.6	14.3	15.6	16.4	
病床利用率(%)	64.3	73.4	58.0	68.2	63.5	67.0	
紹介患者数(人)	434	406	334	350	302	320	
患者紹介率(%)	87.7	79.6	95.1	67.7	80.8	76.3	
救急車搬入件数(件)	75	81	78	90	62	70	

# C型肝炎について



C型肝炎をはじめとするウイルス性肝炎の問題は、たびたびTV、新聞のニュースをにぎわしているように私たちの健康に関わる重要な問題です。

現在、C型肝炎ウイルスに感染している人は、全国に約150～200万人いると考えられています。自覚症状がないため、自ら感染

していることを知らないまま、病状が肝硬変や肝がんへ進行してしまうことが多いそうです。

そこで今号では、誰もが決して無縁の疾患とは言い切れないこのC型肝炎について、その正しい知識と検査、治療に対する助成制度などをとりあげてみました。

## Q1. C型肝炎とはどんな病気？

**A.1** C型肝炎ウイルス（HCV）は血液を介して感染します。自覚症状に乏しく、感染が長時間持続し細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなる病気です。感染によって肝炎が持続すると、20～30年のうちに肝硬変や肝臓がんへ進行しやすい事が知られています。

## Q2. 感染経路は？

**A.2** 感染している人の血液が他の人の血液中に入ることによって感染します。現在の日本の感染者の多くは、C型肝炎ウイルスが発見される前の輸血や血液製剤、注射針の使い回しなどで感染したものと考えられています。最近ではこのような経路で感染する事はほとんどありません。問題になるのはピアスや入れ墨、覚せい剤などの回し打ち、不衛生な状態での鍼治療です。

## Q3. 治療法は？

**A.3** C型肝炎ウイルスを体内から排除して治癒を目指す原因療法と、肝機能を改善して肝炎の悪化を防ぐ対症療法（肝庇護療法）があります。前者はインターフェロンが主流となっています。最近では週1回の注射で優れた効果を発揮するペグインターフェロンという新しい製剤と、リバビリンという内服薬を組み合わせる事が多くなってきました。詳しくは専門医にご相談ください。後者の肝庇護療法はウイルスを体内から排除する事はできませんが、肝炎の沈静化を目的としています。注射剤、内服薬、その他を患者さんに合わせて適用していきます。

## Q4. HCV抗体陽性と言われたのですが

**A.4** C型肝炎ウイルス抗体が陽性である事は過去にウイルスに感染した事を意味しますが、すでにウイルスが排除されている事もあります。そこでウイルス遺伝子（HCV RNA）定性検査を行い、感染が持続しているかどうかを調べます。この検査で陽性でGOT（AST）とGPT（ALT）が異常であればC型慢性肝炎と診断します。HCV RNAが陽性で肝機能が正常のこともあります。この時は専門医にご相談ください。

A.1～A.4のコメント…… 消化器内科部長 小野 英樹

## C型肝炎

# 血液の検査でわかります！



C型肝炎ウイルス（HCV）に感染しているかどうかは、血液の検査で調べることができます。

HCVに感染しても、自覚症状が無く、肝機能も正常のことがほとんどですが、血液中にHCV抗体が作られます。そのため採血をしてHCV抗体を検査することで、C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べることができます。

項目	検査目的	検査に要する時間
H C V 抗体	C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べます	約2時間

### HCV抗体陽性の場合

項目	検査目的	検査に要する時間
HCV-RNA 検査	感染が持続しているかどうかを調べます	約5日間
GOT(AST)	肝機能検査	約1時間
GPT(ALT)	肝機能検査	約1時間

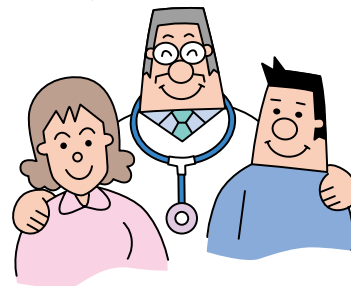
感染について、ご心配な方は専門医へご相談下さい。

※宇佐高田地域成人病検診センターでも、オプション検査（追加検査）として、HCV抗体の検査をしています。ご利用下さい。

臨床検査技師 出口 真美

## ■肝炎治療に対する医療費助成制度について

大分県内に住所地があり、B型、C型ウイルス性肝炎のインターフェロン治療又はB型ウイルス性肝炎の核酸アナログ製剤治療を受けられる方を対象に、医療費を助成する制度があります。



### ○助成の対象となる治療

- ・ B型、C型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療で、保険適用となっているもの。
- ・ B型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療で、保険適用となっているもの。

### ○医療費を助成する期間と助成額

医療費の助成期間は助成開始から原則1年間ですが、核酸アナログ製剤治療については、医師が治療継続が必要と認める場合、更新が認められます。（要申請）

また、インターフェロン治療については、一定の条件を満たせば2回目の助成を受けることが出来ます。患者さんの世帯の所得に応じて以下のとおり、一部自己負担があります。

患者さんが属する世帯の市町村民税(所得割)の課税年額	患者さんが月当たり窓口で負担する限度額
235,000円未満の場合	10,000円
235,000円以上の場合	20,000円

申請は、県内の保健所で行い、認定者には受給者証が交付されます。

北部保健所ホームページより抜粋



# リレーフォーライフ大分2010に参加しました。

9月9・10日に、大分スポーツ公園「大芝生広場」で開催されたリレーフォーライフに参加しました。

昨年は昼間に参加しましたが、今年は、夜のウォーキング。前日からの雨で天気も心配でしたが、風も無く穏やかな星空の下歩くことができました。夜中でもたくさんの参加者が歩いていて、私たちも交代しながらたすきを繋いで行きました。

真夜中の闇の中でも、足元を照らしてくれるルミナリエの灯火は、とても温かく、綺麗でした。一つ一つのルミナリエには、それぞれの方の命に対する思いや、家族や友人など周りへの感謝の言



葉が書かれてあり、感動する言葉がたくさんありました。

来年も参加して、たすきを繋いで行けたらと思います。  
3階病棟看護師 本多 千賀



## ご意見いただきました

ご意見ありがとうございました。  
文責 院長 柏木 孝仁

### ▼ご意見①

ベッドが古くて、ギシギシきしみます。

#### お答え①

開院当初より約30年間使用していましたが、一番古いベッド53台を9月24日に低床電動ベッドに入れ替えました。まだ51台は電動ベッドではありませんが、順次入れ替える予定です。

### ▼ご意見②

入院している者の家族です。以前から気になっていたのですが、薬局の方の話声、笑い声が気になります。待合室から見える場所で、患者や家族の気持ちも考えずに騒ぐのはやめて頂きたいで

す。こちらは家族を心配する気持ちで来ているのに、目の前で騒がれては気分を害します。もう少し患者や家族の気持ちを考えてもらいたいものです。

#### お答え②

貴重なご指摘ありがとうございます。また、不愉快な思いをさせてしまい大変申し訳ございません。

会話をする場所について注意を払うことも気配りの一環であるということ意識して、今後も接遇の向上に努めます。

患者様からのご意見を真摯に受け止め、今後も職員の接遇教育を徹底してまいります。

# 供養盆踊りを 行いました。



親睦会 会長  
大川 奈美

去る8月21日(土)19時30分より当院3階駐車場で、親睦会主催の供養盆踊り大会を開催致しました。

今年も伏田地区の区長様をはじめ、橋津・日足・和気・月ノ瀬地区の住民の皆様方のご協力を頂き、当日は天候にも恵まれ、駐車場いっぱいに広がった大きな二重の踊りの輪はとても厳かで、大変良い供養を行うことが出来たのではないかと感じました。

中野理事長、柏木院長から物故者やご遺族の方々へ追悼の意が表され、供養盆踊りが始まり、



恒例のかき氷や綿菓子等の出し物、景品抽選会もあり、なかでもスーパーボールすくい、あつという間に無くなるほど好評でした。

今年も供養盆踊り大会を通し地区の皆様、ご遺族の皆様、患者様とふれあうことが出来ました。ご参加頂きました皆様方へ厚くお礼申し上げます。

来年も供養盆踊り大会を続けたいと思っておりますので、その折には皆様方の多数のご参加、ご協力の程宜しくお祈りします。



## NEW FACE

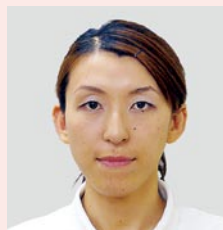
## 新入職員紹介 よろしくお祈りいたします。

①入職日 ②所属 ③モットー(一言) ④趣味



たなか たかこ  
田中 貴子

- ①H22・10・1
- ②3階病棟看護師
- ③笑顔でがんばります。
- ④散歩



なかたけ ふみよ  
中嶽 二三代

- ①H22・9・13
- ②4階病棟看護師
- ③無事故・無違反
- ④ダーツ



ふじおか みづき  
藤岡 みづき

- ①H22・10・12
- ②外来看護師
- ③地元で働くことができ、嬉しいです。笑顔が心がけて一生懸命頑張ります。
- ④音楽鑑賞、ドライブ



かとう ひさえ  
加藤 久枝

- ①H22・10・1
- ②4階病棟看護助手
- ③親切、丁寧をモットーに頑張ります。
- ④ドライブ

# 外来担当医師一覧表

平成22年11月1日現在

時間帯	科別	月	火	水	木	金	土
午前	消化器	小野 英樹	中島 仁典	園田 光	中島 仁典	小野 英樹	中島 仁典
	内視鏡	園田 光	小野 英樹	小野 英樹	園田 光	園田 光	(再来)
	循環器		陣林 伯男		陣林 伯男 ペースメーカー	陣林 伯男	—
	外科	蔵田 伸明	柏木 孝仁	村上 光彦	村上 光彦	柏木 孝仁	—
	呼吸器	三重野 斉	—	—	三重野 斉	—	—
午後	呼吸器	—	黒田 芳信	—	—	—	—
	循環器	—	大分大学医学部 第1内科医師	—	—	—	—
	腎臓内科	—	—	—	—	有馬 誠 第1・第3	—
	血液内科	—	—	—	—	中山 俊之 第2・第4	—

氏名	専門領域
小野 英樹	消化器 肝臓病 内科一般
園田 光	消化器 肝臓病 内科一般
中島 仁典(非常勤)	消化器 肝臓病 内科一般
陣林 伯男	循環器科一般
近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般

氏名	専門領域
柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
村上 光彦	消化器外科 外科一般
蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
三重野 斉	呼吸器科一般
黒田 芳信(非常勤)	呼吸器科一般
中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般



## ●外来受付時間

午前 8:30~11:00 (午後の外来は、午後3:00まで受付)  
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。  
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

## ●診療時間

午前 9:00~12:00 / 午後 2:00~ 5:00

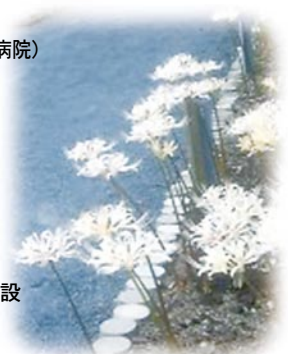
## ●休診日

土曜日午後、日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)

## ●ご案内図



- ・(財)日本医療機能評価機構認定 (ver5.0)
- ・第2次救急指定医療機関・災害拠点病院 (大分DMAT指定病院)
- ・僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- ・第2種感染症指定医療機関 (SARS初療機関)
- ・大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- ・協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- ・肝炎診療協力医療機関・マンモグラフィ画像認定施設
- ・NST稼働施設認定病院



## 編集後記

表紙の写真は豊後高田市田染小崎に居住の当院職員から提供されたものです。折しもここは、今年国の重要文化的景観に選定されました。かつて宇佐神宮の荘園であった田染荘の小崎地区には、現在も平安時代、鎌倉時代の集落や水田の位置がほとんど変わらずに残されているそうです。

中世の姿を残す田んぼが黄金色に染まる美しい景色には深い感銘を受けます。私が収穫祭で訪れた頃は黄金の稲穂もすっかり刈り取られた後でしたが、その澄んだ空気と雄大で穏やかな農村風景には心を癒されました。

皆様も一度訪れてみてはいかがでしょうか。

広報委員

ぬくもり Vol.21 2010年11月5日発行

## 宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635  
 TEL 0978-37-2300 FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。